

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：総務管理費 目：庁舎管理費

事業名 岐阜県庁舎再整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

総務部 県庁舎建設課 管理調整係 電話番号：058-272-1111(内 2925)

E-mail: c11119@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 29,246,479 千円 (前年度予算額：6,638,463 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附 金	その 他	県 債	一 般 財 源
前年度	6,638,463	48,253	0	0	0	0	0	4,902,500	1,687,710
要求額	29,246,479	306,855	0	0	0	0	0	21,606,100	7,333,524
決定額	29,175,089	306,855	0	0	0	0	0	21,552,600	7,315,634

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

現県庁舎は昭和41年2月の竣工から55年が経過し、老朽化や執務スペースの狭隘化に加え、大規模地震発生時には災害対策の中核拠点として十分に機能できる耐震性が満たされていないことから、早急に建て替える必要がある。

(2) 事業内容

平成29年に基本設計、平成30年に実施設計を行い、令和元年度から新県庁舎行政棟・議会棟工事に着手している。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10 / 10

※建物建設工事については、交付対象事業費2 / 5の補助あり。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

○工事費（28,886,485千円）

建物本体の建設工事等を実施

○工事監理費（142,206千円）

上記工事に係る業務を実施

○調査費、設計費（95,496千円）

新県庁舎建設に伴い発生する可能性のある周辺家屋への影響調査、現県庁舎解体工事の実設計等を実施

○その他（122,292千円）

テレビ電波障害対策費、有識者会議開催費、事務費 等

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	3,763	委員費用弁償、業務旅費
需用費	2,802	消耗品費、会議費
役務費	5,853	申請手数料、電話・郵便代
委託料	341,372	工事委託費、業務委託費
工事請負費	28,886,485	県庁舎建設工事費等
その他	6,204	報償費、使用料及び賃借料、備品購入費、負担金
合計	29,246,479	

決定額の考え方

要求内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

○本体工事スケジュール

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度											
	7	...	3	4	...	3	4	...	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
本体工事	行政棟工事																				
	議会棟工事																				

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・令和元年度から着手している新県庁舎建設工事について、令和3年度も引き続き同工事を進める。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

- ・本事業は単独の施設整備事業であるため、指標を設定することは困難である。

（前年度の取組）

- ・令和元年度から着手している、新県庁舎行政棟・議会棟の建設工事を進めた。

（前年度の成果）

- ・新県庁舎行政棟・議会棟建設工事について着実に進めた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	<p>現県庁舎は令和3年度で築55年を迎え、建物や設備の老朽化により、今後維持・修繕コストの増加が見込まれる。</p> <p>また、業務拡大に伴う狭隘化によりスペースが十分に確保されていないことや、大規模地震発生時に建物自体の損傷や設備の破損により、災害対策の中核拠点として十分に機能しないことが危惧されるため、早急な建て替えが必要。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に引き続き、新県庁舎行政棟・議会棟の建設工事を着実に行う。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・新県庁舎行政棟・議会棟の建設工事を着実に進める。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】